



きれいな長藤を楽しむ子ども

**藤の香りで、鬼退散?!**

■東光寺の長藤まつり

4月18日から4月30日まで、東光寺（静波区）で長藤まつりが開催されました。東光寺の長藤は、磐田市の行輿寺から熊野の長藤を一枝譲り受け育てられ、花房が1メートル以上も垂れ下がり、紫色の美しい花をつけます。日本では古来から、魔除けとして縁起が良いとされてきた藤の花。「鬼が嫌う」とされる藤の花の香りを楽しみに、子ども連れの家族でにぎわいました。祭りの期間中には、おでんのテイクアウト、お菓子の販売も行われました。

**もえぎ色の茶園に夢中な児童**

■茶摘み体験とお茶の天ぷら味見

4月22日、萩間小学校3年生25人が社会と総合学習の一環として、お茶摘み体験とお茶の天ぷらづくりを行いました。児童らは、学校を見下ろす小高い茶園で、この日のために用意された揃いの手ぬぐいを巻き、学校支援員の野ヶ本さん夫婦やJAハイナンの紅林慎史さんから「一芯二葉」の摘み方を教えてもらいながら、丁寧に新芽を摘み取りました。摘み取った新茶は、学校へ持ち帰り、さっそく天ぷらにして季節の味を楽しみました。



野ヶ本さんの茶園で茶摘みを体験する児童

**交通事故に遭わないようにね**

■新入学おめでとうキャンペーン

4月8日、川崎小学校の入学式に合わせて「新入学おめでとうキャンペーン」が行われ、サッカーの枝村匠馬選手（藤枝MYFC所属、川崎小学校出身）と杉本市長、戸塚牧之原警察署長が、新入学児童62人に交通安全や防犯の啓発品を手渡しました。枝村選手は「事故に遭わないように気を付けて登下校してください」などと呼びかけながら、新入学児童に対し、ランドセルに付けられるクラブオリジナル反射板などの啓発品を手渡しました。



新入学児童に啓発品を手渡す枝村選手（左）ら



「侍ソーラン」を披露する勝間田小学校の児童

**地元小学生、元気つつじと舞う**

■勝間田公園つつじまつり

勝間田公園つつじまつりが4月10日、勝間田公園内の三栗山山頂広場で行われました。同公園内にはミヤマツツジが約1万本群生し、例年4月中旬から下旬にかけて見頃を迎えますが、今年は暖かな天候に恵まれ、例年よりも早く満開を迎えました。このミヤマツツジは、昭和54年に県の天然記念物にも指定されています。当日は、勝間田小学校5・6年生の児童32人が、舞い散るツツジの花の前で「侍ソーラン」を力いっぱい披露し、来場者を楽しませました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン！  
カシャ！！



般若寺の文化財を鑑賞する来場者

**貴重な文化財の数々を特別公開**

■市史料館企画展「般若寺の寺宝展」

市史料館では、4月6日から5月30日まで企画展「般若寺の寺宝展」を開催中です。般若寺（大沢区）は、県の文化財に指定される平安末期の大般若経や田沼家ゆかりの陣太鼓、相良城の杉戸など、数多くの文化財を伝える寺院です。今回の企画展では、般若寺の長い歴史の中で守られてきた数々の寺宝はもちろん、今まで非公開だった平安末期の写経「紙本墨書大般若経」（県指定文化財）全65巻のうち、2巻が特別公開されました。普段は見ることのできない貴重な文化財が数多く展示されていますので、この機会にぜひご覧ください。

**自分たちで収穫した旬の味覚を堪能**

■たけのこまつり

菅山保育園では毎年、3月末から4月下旬まで「たけのこまつり」を開き、園の裏山で園児たちが力を合わせて、たけのこを掘っています。スコップを使い、慣れた手つきで次々にたけのこを掘り出す園児たち。その顔には笑顔があふれていました。掘ったたけのこは、たけのこご飯や炒め物、みそ汁などの給食のメニューに。園児たちは、この時期ならではの旬の味覚を堪能しながら、自然や食べ物について学んでいました。



立派なタケノコを収穫した園児



木下団長（左）から辞令書を受け取った新入団員代表の2人

**市民の安全安心のために**

■消防団辞令交付式

牧之原市消防団の辞令交付式が4月4日、相良中学校体育館で開催されました。本年度の新入団員は39人（うち女性消防隊8人）で、式では代表の渡邊竜司さんと戸塚ひかりさんに、木下和義団長から辞令書が交付されました。木下団長から「消防団員としての知識・安全管理を身に付け、市民の安全安心のために、自信と誇りを持って活動してください」と訓示を受けた新入団員たちは、引き締まった表情を見せていました。